

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成22年2月4日 (2010.2.4)

【公開番号】特開2008-152192(P2008-152192A)
 【公開日】平成20年7月3日 (2008.7.3)
 【年通号数】公開・登録公報2008-026
 【出願番号】特願2006-342637(P2006-342637)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 15/08 5 0 4 B

G 0 3 G 15/08 5 0 1 C

G 0 3 G 15/08 5 0 6

【手続補正書】
 【提出日】平成21年12月15日 (2009.12.15)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

球形状である非磁性一成分現像剤を担持搬送する現像剤担持体と、
 前記現像剤担持体に圧接するように設けられ、前記現像剤担持体に担持された前記現像剤の量を規制する現像剤規制部材と、
 を備え、

前記現像剤規制部材が導電性を有し、前記現像剤規制部材が導通部に電氣的に導通される現像装置において、

前記現像剤担持体は、前記現像剤担持体表面の水に対する接触角が 100 度以上となるように設けられていることを特徴とする現像装置。

【請求項 2】

前記現像剤担持体の表面粗さは、算術平均粗さ (Ra) で 0.3 μm 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の現像装置。

【請求項 3】

前記現像剤規制部材に直流バイアス電圧を印加する電圧印加手段を備え、
 前記電圧印加手段により前記現像剤規制部材に前記直流バイアス電圧を印加して、前記現像剤担持体との間に電位差を設けることにより、前記現像剤担持体に担持された現像剤に電荷を付与し、前記現像剤の摩擦帯電量を増加させることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の現像装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の現像装置を備え、画像形成装置に着脱可能に設けられることを特徴とするプロセスカートリッジ。

【請求項 5】

前記プロセスカートリッジは、前記現像装置によって現像作用が行われる静電潜像担持体を備えることを特徴とする請求項 4 に記載のプロセスカートリッジ。

【請求項 6】

静電潜像担持体と、

前記静電潜像担持体に現像作用を行う請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の現像装置

と、

を備えることを特徴とする画像形成装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

上記目的を達成するために本発明にあっては、

球形状である非磁性一成分現像剤を担持搬送する現像剤担持体と、

前記現像剤担持体に圧接するように設けられ、前記現像剤担持体に担持された前記現像剤の量を規制する現像剤規制部材と、

を備え、

前記現像剤規制部材が導電性を有し、前記現像剤規制部材が導通部に電氣的に導通される現像装置において、

前記現像剤担持体は、前記現像剤担持体表面の水に対する接触角が１００度以上となるように設けられていることを特徴とする。